



任用試験に挑む友へ

心に希望の 哲学は光る

雲海に燦々と陽光が降り注ぐ。
雲の切れ目から、冬の大地を照らしている。1982年（昭和57年）1月10日、池田名誉会長は、東京から秋田へ向かう機中でカメラを向けた。北国の同志に「正義の炎」をともし「雪の秋田指導」が、始

まろうとしていた。
妙法は、いかなる苦難の闇をも払う希望の光。人々を不幸にする思想の乱れをただす正義の柱。人類を結びゆく連帯の絆。この大哲学を学び、証明し、世界に広げゆく団体が創価学会である。

まもなく創立85周年の11月18日。全国で「教学部任用試験」を目指し、教学研さんの新鮮な喜びが広がる。受験する友も、応援する友も、この太陽の仏法を信じ、学ぶ喜びを胸に、社会に幸福を広げる挑戦に打って出よう。



東京・八王子市の創価女子短期大学の会場を訪れ、教学試験の受験者を激励する池田名誉会長。「広宣流布のために挑戦したことは、全部、永遠の福運となり、深き思い出になるのです」と（2002年9月）

御書には、
「希望の中の希望」が
説き明かされている。
万人が必ず、
仏性という尊極の生命を
輝かせていける大道が、
あますところなく
示されているといつてよい。

まさしく、
究極の幸福学の經典こそ、
御書なのである。
人間の真の偉さは、
その心に
何を持っているかで決まる。
財産でもなければ、

肩書でもない。
最高無二の哲学を持つ人が、
最高に尊貴なのである。
その人こそ、
現実を勝ち抜く、
限らない智慧と力を
発揮していけるのだ。

仏法は勝負だ！
人生も勝負だ！
断じて、断じて勝つのだ！
現実の苦悩と戦う
原理となつてこそ、
生きた哲学であり、
生きた宗教である。
広宣流布とは、
その偉大な哲理に目覚めた民衆が、
人生と社会の主役として、
猛然と躍り出ることだ。

我らには、
「慈悲と哲理」の
地涌の誇りがある。
さあ、御書を繙こう！
君よ、貴女よ、
「行学の二道」を励みゆけ！
今日も、
共に最高峰の大哲学を
学ぶ喜びに燃えて躍進だ！
「世界広布」即「人類平和」の
偉大な夢に向かって！